

指定管理者制度導入施設の運営状況（平成29年度）

1. 施設名等

施設名	別府港機械管理駐車場・県営3号上屋・石垣地区緑地	所在地	別府市新港町、船小路町、汐見町
		電話番号	0977-23-5599
		ホームページ	http://oita-ks.jp/

2. 指定管理者および県の所管部課（窓口）

指定管理者	名称 株式会社おおいた観光サービス	県の所管部課 (局・室)	土木建築部 港湾課 TEL : 097-506-4614
	所在地 別府市新港町942番5号		
	指定期間 平成26年4月1日～平成31年3月31日(5年間)		

3. 施設の概要

設置年月日	平成12年10月1日
設置根拠	大分県港湾施設管理条例
設置目的	別府港石垣地区は、背後の豊富な観光資源を活用した国際・国内旅客船基地として、旅客船埠頭及び旅客上屋を整備するとともに、港湾関係利用者や市民等の憩いの場としての港湾空間の創出を図るため緑地を整備している。3号上屋は、旅客船乗降客への便宜供与のため昭和56年に、また緑地は、昭和59年から平成3年までの間に順次供用開始してきたものである。機械管理駐車場は、放置車両対策の一環として整備を行い、平成12年10月に第1・第2駐車場を、平成13年7月に第3駐車場を供用開始したものである。
事業内容	①港湾施設の維持管理及び修繕に関すること。 ②港湾施設の使用許可（工作物の設置を伴うものを除く）に関すること。 ③港湾施設の利用促進に関すること。 ④①から③のほか、港湾施設の設置目的を達成するために必要な事業に関すること。
施設内容	機械管理駐車場 第一駐車場 普通188台、第二駐車場 大型16台 普通198台、第三駐車場 普通82台 県営3号上屋 貸付区画13区画、貴賓室1室、トイレ2箇所、エレベーター1基、エスカレーター1基、空調機器1基 石垣地区緑地 芝生、樹木、遊歩道、トイレ、水飲み場、ベンチ
使用料等	1時間以内 100円 1時間30分 200円 2時間以内 300円 2時間超～7時間 400円 7時間超～12時間 500円 12時間超～18時間 600円 18時間超～ 6時間毎 200円加算 ※第2駐車場は48時間超より 6時間毎100円加算 1ヶ月 月極め定期 6,100円（普）※第2駐車場については、大型車8,200円 3号上屋 1日1㎡ 49円90銭
閉館日	年中無休 （ただし、施設の改修工事または災害による安全確保の必要がある場合には、臨時に閉鎖する場合がある） ※3号上屋は、午前4時から午後9時まで開館している。

4. 目標指標の達成状況

指標	年度	目標数値	実績	達成率(%)
県営3号上屋の活用によるイベント開催回数	平成26年度	50	93	186.0%
	平成27年度	50	104	208.0%
	平成28年度	50	71	142.0%
	平成29年度	50	110	220.0%

5. 施設の利用状況

駐車場利用者数(台)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	平成26年度	6,911	8,091	7,536	6,813	8,738	6,343	
	平成27年度	7,646	8,325	7,544	7,921	9,871	8,010	
	平成28年度	6,780	7,465	7,778	8,336	10,098	7,511	
	平成29年度	7,918	9,415	8,754	8,218	10,539	7,546	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	平成26年度	7,589	7,715	7,599	6,419	5,730	9,452	88,936
	平成27年度	8,183	9,054	8,797	7,249	7,087	10,993	100,680
	平成28年度	8,511	9,524	9,128	8,001	7,101	11,176	101,409
	平成29年度	8,799	9,379	9,850	8,508	7,502	11,957	108,385

6. 利用者満足度調査等の実施状況

利用者満足度調査	実施方法	アンケート等の実施により施設利用者の意見や苦情等を聴取する。 利用者のニーズに合わせ7段階評価を実施している。 「とても良い」、「良い」、「比較的良い」、「普通」、「比較的悪い」、「悪い」、「とても悪い」							
	実施結果	【駐車場】	とても良い	良い	比較的良い	普通	比較的悪い	悪い	とても悪い
		・職員の対応	64%	27%	3%	6%			
		・駐車場の状況	45%	33%	7%	15%			
		・料金の設定	3%	9%	10%	54%	16%	3%	4%
		・案内表示	18%	34%	12%	36%			
		【3号上屋】	とても良い	良い	比較的良い	普通	比較的悪い		
		フリーマーケット							
		・イベント内容	10%	20%	15%	35%	20%		
		その他のイベント							
		・イベント内容	62%	15%	23%				
利用者等からの主な意見・要望・苦情					左の対応状況				
定期の駐車場利用料金が高い。					付近の月極駐車場の料金と同等であることに加え、路面を舗装しており、夜間は警備会社に巡回委託していることを考えると妥当な金額設定であると考え、6,100円で維持している。				

7. サービス向上に係る主な取組内容

サービス提供体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○ フリーマーケットの開催にあたって、出展者組合代表者と連携をとり、大分合同新聞で「ラン&プレー」や「ぶんぶん」の広告スペースを使った告知を行った。 ○ 津波対策やテロ対策を想定した訓練を行うなど、管理運営において安全面の強化に努めた。
イベント等の充実	<p>H29年度に新規イベント(45回)を誘致し、目標指標を大きく上回る110回の開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例イベント リサイクルオークション 22回、古物市場 12回、フリーマーケット 12回、健康志向品の展示販売及びミーティング 9回、なんでも蚤の市 3回、住まいのリフォーム展 3回、別府市民交響楽団練習会 1回、てしごと市 1回、クリスマスイルミ点灯式 1回、さつき展 1回 ・新規イベント ジャザサイズ 31回、古道具ハル 7回、レンタサイクル 7回

8. 管理に係る収支の状況

(単位：千円)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
収入額(A)		34,614	36,896	37,841	39,724
内 訳	県からの委託料				
	利用料金	33,480	35,732	36,451	38,510
	雑収入	1,134	1,164	1,390	1,214
支出額(B)		31,179	32,178	32,971	29,350
内 訳	人件費	14,089	14,474	15,613	13,362
	維持管理費(修繕費、光熱水費、委託料)	5,791	5,383	6,736	5,719
	その他(通信運搬費、広告費、消耗品費等)	11,299	12,321	10,622	10,269
収支差額(A-B)		3,435	4,718	4,870	10,374

9. 施設使用料等の収入状況

利用料金(千円)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	平成26年度	2,727	3,128	3,243	2,007	2,704	3,527	
	平成27年度	2,315	2,802	3,108	2,187	2,904	4,027	
	平成28年度	2,102	2,667	2,268	3,876	3,057	3,634	
	平成29年度	2,632	3,182	3,411	2,763	3,076	3,709	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	平成26年度	2,346	2,713	3,113	2,006	1,805	4,161	33,480
	平成27年度	2,603	2,897	3,555	2,412	2,389	4,533	35,732
	平成28年度	2,829	3,211	3,380	2,555	3,430	3,442	36,451
	平成29年度	2,986	3,225	3,641	2,938	2,351	4,596	38,510

10. 指定管理者の管理体制

施設管理体制	統括管理者(正規職員 1名)								
	監視・料金回収・一般事務・上屋管理業務(正規職員 2名)								
	監視及び3号上屋・緑地清掃業(嘱託職員 1名、臨時職員2名)								
	職員数 (H 29.4.1)	正規職員	パート	嘱託	他社から派遣	臨時職員	その他		合計
		3		1		2			6

11. 適正な管理運営に係る主な取組内容

職員の資質・能力の向上	○ 別府国際観光港みなとまちづくり協議会、泉まちネット交流会等の活動に積極的に参加し、地域との関わりを深めるなど幅広い人脈形成と地域情報の取得に努めた。
防災に関する研修・訓練	○ 平成29年11月2日に、(株)フェリーさんふらわあと共同で、地震、津波を想定した初動措置訓練を実施した。 ○ 平成29年11月28日には、別府警察署の協力のもと、不審者(物)に対する発見から現場での対応、関係機関への連絡といった訓練を施設利用者と合同で実施している。
安全対策等	○ 地震津波発生や、不審者(物)及びテロを想定した訓練を実施し、施設利用者の安全対策に万全を期した。 ○ 24時間の巡回体制(夜間は警備委託)で、不審物の早期発見及び浮浪者の徘徊等について監視し、事件・事故の未然防止に努めた。 ○ 緊急時には、当該施設以外からも業務経験のある職員が24時間常に15分以内に応援できる体制をとっている。